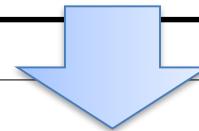


再生可能エネルギー・省エネルギーの推進に関する 基本的方向(施策の大綱)

資料1-2

検討の背景

- 地球温暖化への対応は、人類の生存基盤である豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくための世界的な課題であり、県においても、「新・宮城の将来ビジョン」に掲げる「持続可能な未来」の実現を目指していく上で、**最優先で取り組むべき課題**であると認識。
- そのため、令和3年3月に策定した「宮城県環境基本計画」において、「**2050年二酸化炭素排出実質ゼロ**」を長期目標に掲げたところ。
- 脱炭素社会の実現に向け、産業構造や社会経済の変革をもたらす「環境と経済の好循環」を生み出すことができるよう、県民や事業者など地域社会を構成する**全ての主体と連携しながら、着実に地球温暖化対策を進めていく**ことが必要。



検討の方向性(案)

- 脱炭素社会の実現に向け、**徹底した省エネルギーや再生可能エネルギーの最大限の導入**など、あらゆる分野で、でき得る限りの取組を推進
- 次のような基本的方向を2050年を見据えた戦略として設定
 - ・短期的(2030年まで)
 - …**省エネルギーの推進**、比較的導入までの期間が短い**太陽光発電の普及**
 - ・長期的(2050年まで)
 - …山間部の風力発電や地熱発電、**水素エネルギー**の利活用